

## 口腔機能の評価測定器「健口くん」を貸し出しします

口腔は、食べる、話す、呼吸をする、表情をつくるなどイキイキと元気に生活するために、大切な役割があります。

おいしく食べ、会話を楽しみ、豊かな表情をつくるためには、口腔の機能を知り、口腔機能を強化することが生活の質を向上するといわれています。

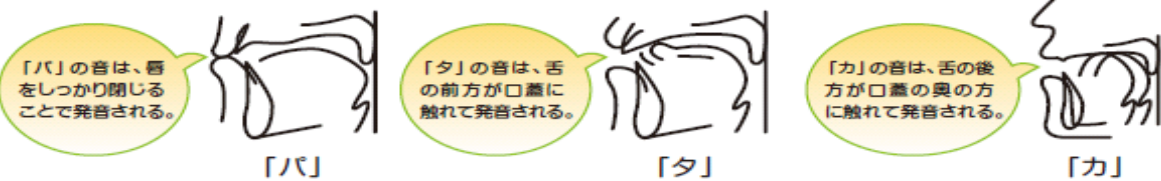
- 現在、高齢者の介護予防を目的として口腔機能の向上のための事業が、市町村、関係事業所等で実施されています。
- 対象者が口腔機能の向上のためのトレーニング等を実施した結果について、以下のような評価をする方法があります。

### ① 反復唾液嚥下テスト (RSST)

30秒間に3回以上唾液が飲み込めることを正常範囲とし、飲み込む機能を測定します。

### ② オーラルディアドコキネシス

「パ」「タ」「カ」をそれぞれ10秒間発音し、口の周りの動きを測定します。



「パ」の音は、唇をしっかりと閉じることで発音される。

「パ」

「タ」の音は、舌の前方が口蓋に触れて発音される。

「タ」

「カ」の音は、舌の後方が口蓋の奥の方に触れて発音される。

「カ」

唇をしっかり閉じることは、飲み込むこと、食べるために重要です。

上手に飲み込むためには、舌の前方の動きが重要です。

舌の奥の部分の機能が飲み込む際には重要です。

### ①や②を簡単に計れる自動測定器を貸し出しします。

健口くん



- 飲み込むまでに掛かった時間を測定します。
- 測定時間内の発音回数を自動的に測定します。

健口くんハンディ



- 測定時間内の発音回数を自動的に測定します。

※その形から高齢者に圧迫感を与えることなく測定できます

問い合わせ先・貸し出し窓口

糸魚川地域振興局健康福祉部 地域保健課 TEL025-553-1933